

# 2026 スカイランニング日本代表(山岳) 選考要綱

－世界選手権・ユース世界選手権・マスターズ世界選手権－

2025年9月発表（2026年1月更新）

JSA ナショナルチーム委員会

## 1.日本代表の派遣を予定する国際競技会について

### 2026 スカイランニング世界選手権（A 代表）

開催地 スペイン ラ・ゴメラ

開催日 2026年9月18-20日

種目 ①バーティカル ②スカイウルトラ ③スカイ

### 2026 ユース スカイランニング世界選手権（23歳以下）

開催地 クロアチア マカルスカ

開催日 2026年5月8-10日

種目 ①バーティカル ②スカイ

年代別 ①ユース A(15-16歳) ②ユース B(17-18歳) ③ユース C(19-20歳) ④アンダー23(21-23歳)

### 2026 マスターズ スカイランニング世界選手権（40歳以上）

開催地 フランス サヴオア

開催日 2026年7月4日

種目 ①スカイ

年代別 ①オーバー40(40-44歳) ②オーバー45(45-49歳) ③オーバー50(50-54歳) ④オーバー55(55歳以上)

## 2.日本代表選手の必須条件

1. 日本国籍を有する JSA 登録選手であること（2025年度・2026年度）
2. スカイランニングの競技規則・理念・精神を理解し、社会規範を遵守している者
3. ナショナルチームが定める練習・報告・取材等への参加・協力ができる者
4. 日本代表及び強化指定選手行動規程を順守できる者
5. 遠征経費の自己負担（全額もしくは一部負担）が可能な者
6. 事項に掲げる選考条件に該当する者

### 3. 日本代表選手の選考方法

#### ①2026 スカイランニング世界選手権 (A 代表)

・年齢は 18 歳以上であること ※2008 年以前生まれ

・選手数(最大 18 名) ※競技ごとに最大 6 名、同性選手は最大 3 名

種目	男子	女子	備考
バーティカル	3 名	3 名	※スカイ／スカイウルトラと兼務可
スカイ	3 名	3 名	※バーティカルと兼務可
スカイウルトラ	3 名	3 名	※バーティカルと兼務可

#### 選考方法①>②

①ISF ランキング(365 日)20 位以内の最上位者 ※男女各 1 名 ※2025 年 12 月 31 日時点 ※該当者無し

②2025 全日本選手権の各種目(バーティカル、スカイ、スカイウルトラ)上位者

※2025 全日本選手権の各種目(バーティカル、スカイ、スカイウルトラ)5 位以内の者でなくてはならない

※【補足】バーティカル＋スカイ。バーティカル＋スカイウルトラの 2 種目の出場は可

#### ②2026 ユース スカイランニング世界選手権 (23 歳以下)

・年齢は 15~23 歳であること ※2003-2011 年生まれ

・選手数(最大 18 名) ※年齢カテゴリーごとに最大 6 名／同性選手は最大 4 名

部門	選出人数	対象
ユース A	4 名以内(男 1-3 名／女 1-3 名)	2010-2011 年生まれ
ユース B	4 名以内(男 1-3 名／女 1-3 名)	2008-2009 年生まれ
ユース C	4 名以内(男 1-3 名／女 1-3 名)	2006-2007 年生まれ
アンダー23	4 名以内(男 1-3 名／女 1-3 名)	2003-2005 年生まれ

#### 選考方法(優先順①>②>③>④>⑤)

①ISF ランキング(365 日)20 位以内の最上位者 ※男女各 1 名 ※2025 年 12 月 31 日時点

②2025 ユース世界選手権 3 位以内入賞者

③2025 全日本ユース選手権の総合上位者

・バーティカル男女トップ3 ・スカイ(YC・U23)男女トップ2 ・スカイ(YA・YB)男女トップ 2

④2025 全日本ユース選手権の年代別トップ選手(金メダル獲得者)

(優先順) スカイ 金メダル → バーティカル 金メダル → コンバインド 金メダル

⑤2025 全日本ユース選手権メダリストのうち、③の選出者と同等の実力(タイム差2%以内)と認められる選手

⑥2026 JSA 強化指定選手(S・A・B ランク)

※バーティカルとスカイ両種目への参加を前提とするが、経験・技術が不十分と認められる選手にはスカイの出場を制限する場合がある

### ③2026 マスターズ世界選手権

・年齢は 40 歳以上であること ※1986 年以前生まれ

・選手数(最大 24 名) ※定員や年齢は変更される場合があります、また実施されない種目がある場合もあります

年代別部門	スカイ＋スカイウルトラ	備考
オーバー40	6 名以内 (男 2-4 名／女 2-4 名)	1982-1986 年生まれ
オーバー45	6 名以内 (男 2-4 名／女 2-4 名)	1977-1981 年生まれ
オーバー50	6 名以内 (男 2-4 名／女 2-4 名)	1972-1976 年生まれ
オーバー55	6 名以内 (男 2-4 名／女 2-4 名)	1971 年以前生まれ

#### 選考方法①>②>③

①ISF ランキング(365 日)20 位以内の最上位者 ※男女各 1 名 ※2025 年 12 月 31 日時点

②2025 全日本選手権の各種目(スカイ、スカイウルトラ)上位者

※2025 全日本選手権の各種目(スカイ、スカイウルトラ)時間内完走者でなくてはならない

※『全日本選手権総合優勝者』を 100 とした成績(パーセンテージで表示される=値が低いほど好成績となる)の良い者から優先権を獲得する。なお、2025 全日本選手権の年代別順位とは合致しない

③2026 JSA 強化指定選手(S・A・B ランク)

## 4. 代表選手の決定および手続き

### ①日本代表の内定

全選考競技会の終了後、担当委員会により内定者名簿がまとめられる。その後、該当する選手への希望調査が JSA 事務局より行われ、最終的な内定者が決定する。

### ②派遣の決定

日本代表としての派遣されるためには、JSA 事務局より送られる『選手誓約書』への署名と捺印が必要である。日本代表選手としての派遣は最終的には JSA 理事会により決定される。

### ●代表選手・ナショナルチーム資格の取消

JSA は以下に定める条件に則り、当該選手の日本代表およびナショナルチーム所属を認めない、または取り消す権利を有する。期間は世界選手権への出発日まで有効とし、担当委員会／JSA 理事会の判断・承認を以て当該選手に通達される。なお、取り消しによって発生した損害については当該選手が負担する。

#### 取消の条件

1. 本要項の「2.日本代表選手の必須条件」に該当しないとき
2. 世界選手権へ出場するための準備が不十分と認められるとき
3. 強化合宿や代表選手としての活動に対する参加、取組姿勢が不十分と認められるとき
4. スカイランニング及び当協会に対しての不利益・不適切な言動が認められるとき
5. 医学的見地から選手自身の健康状態に不具合が認められるとき

## 5. 費用の負担・補助

日本代表選手の強化・派遣に関する費用の負担者については以下を予定している

	世界選手権	ユース世界選手権	マスターズ世界選手権
航空券代金	個人負担	個人負担	個人負担
現地宿泊費	JSA or 個人負担	JSA or 個人負担	個人負担
現地交通費	JSA or 個人負担	JSA or 個人負担	個人負担
レース参加費	JSA	JSA	個人負担
保険料(基本額)	JSA	JSA	個人負担
公式ユニフォーム	JSA	JSA	個人負担
強化費(大会・合宿等)	JSA	JSA or 個人負担	—
ISF ライセンス取得料	JSA	JSA	個人負担

※ホスト側の財政状況や JSA の財政状況等により変更される場合があります

※社会情勢により渡航費用が値上がりしています。計画的な準備が選手各自にも求められます